

平成 30 年度第 1 回地区推進会議 会議録

1. 開催日時：平成 30 年 8 月 23 日(木) 午後 5 時 30 分開始

2. 開催場所：市川市役所仮本庁舎 4 階第 1・2 委員会室

3. 出席者

各地区委員 : 26 名

社会福祉協議会：萩原常務理事、鶴ヶ谷事務局長、山崎事務局次長 ほか

地域支えあい課：杉山課長、飯島主幹、近藤主幹 ほか

福祉政策課 : 若菜課長、白井主幹 ほか

4. 議事

(1) 地区推進会議の役割について

(2) 行政施策への反映を意識した振り返りシートの活用について

(3) 地域活動応援制度について

5. 配布資料

会議次第

資料 1 地区推進会議の役割について

資料 2 行政施策への反映を意識した振り返りシートの活用について

資料 3 地域活動応援制度について

席次表

| 区 分 | 内 容 |
|---------------|--|
| 福祉政策課 白井主幹 | <p>皆様こんばんは。本日はお忙しい中、地区推進会議にご出席いただき、ありがとうございます。本日の進行を担当させていただきます福祉政策課の白井でございます。よろしくお願いいたします。本日もご出席いただいている委員の方は、お配りした席次表の通りとなります。続きまして、本日出席しております、事務局職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>(事務局職員・社会福祉協議会・コミュニティワーカー紹介)</p> <p>なお、本日は地域活動について現場を見学したいとのことで、昨年度に引き続き、千葉商科大学和田教授及び、学生みなさんも出席しておりますのでご報告申し上げます。よろしくお願いいたします。</p> <p>(資料確認)</p> <p>議事録を作成する都合上、ご発言いただく際は、お近くのハンドマイクをお使いいただき、地区及びお名前をお伝え下さいますようお願いいたします。また、ご発言が終わりましたら、お手数ですがマイクのスイッチをお切り下さいますよう併せてお願いいたします。</p> <p>それでは、会議次第1の「地区推進会議の役割について」を福祉政策課長の若菜よりご説明させていただきます。</p> |
| 福祉政策課 若菜課長 | <p>(「資料1 地区推進会議の役割について」に基づき説明)</p> |
| 福祉政策課 白井主幹 | <p>続きまして、ただ今の説明に関連いたしまして、平成29年度の地区推進会議意見に係る報告を福祉政策課正木よりさせていただきます。</p> |
| 福祉政策課 正木主査 | <p>平成29年度の地区推進会議のメインテーマは地域福祉計画の策定でございましたが、計画内容の修正以外のご意見もあったため、主なご意見に係る市からの報告をさせていただきます。5項目ございます。</p> |
| | <p>まず、1つ目として、ふれあい会食会・憩いの場など、地域活動の場が足りない、というご意見をいただきました。これにつきましては、民間団体の協力を得て地域活動の場を確保する「地域活動応援制度」を今年度開始する予定であり、まずはこの事業により、地域活動の場の確保を図りたいと考えております。なお、この「地域活動応援制度」については、本日の会議の議題(3)で現時点の制度設計案を報告し、意見交換を行います。</p> |
| | <p>2つ目でございますが、1項目目で申し上げた「地域活動応援制度」について、協力いただける民間団体を紙で情報提供するだけでなく、その団体とどう連携できるか、市も地域と一緒に考えてほしい、というご意見をいただきました。この「地域活動応援制度」の運用にあたっては、場の確保が必要な地域に対しては、情報共有・場の活用方法などを、市も一緒に考えていきたいと思っております。</p> |
| | <p>3つ目に、「地域ケアシステム」の名称がわかりにくい、愛称をつけるのはどうか、というご意見をいただきました。「地域ケアシステム」はあくまでも、仕組みの名称です。拠点の愛称については、複数の地区で地域に</p> |

親しまれている名称の事例もあることから、各地区で必要に応じて検討していただきたいと考えております。

4つ目に、地域の要望・課題をどう議論し、次の手立てを考えてくれるのか、というご意見をいただきました。地域でできること・地域では解決が困難で支援が必要なこと、のすみわけが必要であり、それも踏まえて施策を考える必要があります。今後は、振り返りシートを活用して、地域課題に関する議論をし、行政施策につなげていきたいと考えています。なお、「振り返りシートを活用した地域課題の検討」については、本日の会議の議題(2)で説明し、意見交換を行います。

5つ目に、地域活動の担い手が個人情報をも適正に活用できるようにするための支援について、計画で定めているリーフレットの配布だけでなく、研修の機会を設けてほしい、というご意見をいただきました。これにつきましては、個人情報の収集・管理に関するリーフレットの作成後、配布とあわせて説明も行いたいと考えています。

それではここで一旦質問をお受けしたいと思っております。議題1の説明について、何かご質問等がありましたら、お願いいたします。

よろしいでしょうか。それでは、後ほどまた質問の時間を設けますので、その際に何かありましたらお願いします。

それでは次に進ませていただきます。会議次第2の「行政施策への反映を意識した振り返りシートの活用について」福祉政策課正木より説明させていただきます。

(「資料2 行政施策への反映を意識した振り返りシートの活用について」に基づき説明)

振り返りシートについて説明いたしました。この関連で何かご質問等がありましたら、お願いいたします。

資料で示されたスケジュールは来年の6月からのものでしょうか。例えば資料でイメージとして記載されている「お互いさま事業」については、私たちは喫緊に要望したいことがあります。このスケジュールだと来年の7月の新規・拡大事業の提案に向けて1年間かけてということになってしまいます。

また、テーマごとの意見交換をするとの説明がありましたが、このことをもう少し詳しく説明してもらいたいです。地域活動応援制度について後ほど説明があると思いますが、こういう制度を作りましたという説明では納得がいきません。こういう制度を作りたいと思うけれども地域の皆さまどうですか、というキャッチボールの場がこの地区推進会議であり、そのキャッチボールをいかに有意義なものにするかが大事だと思います。この流れの中でどのようにキャッチボールをするのでしょうか。そして、テーマを決めると説明がありましたが、そのテーマは誰が決めるのでしょうか。

福祉政策課
白井主幹

福祉政策課
正木主査
福祉政策課
白井主幹
石崎委員

| | |
|--------------------|--|
| 福祉政策課 正木主査 | <p>課題があがってきた時にお互いに話し合うチャンスをどこで確保できるのかをうかがいたと思います。</p> <p>振り返りシートは今年度から導入していますので、資料で示しているのは来年からのスケジュールとなります。今年度の2回目・3回目の会議については、個別のテーマを設定した意見交換を行いたいと考えておりました、そのテーマについては本日の意見交換の内容をふまえて設定したいと考えています。</p> <p>テーマを誰が決めるのかということにつきましては、振り返りシートでの記載や地区推進会議でのご意見をふまえて、まずは事務局で設定したいと考えています。ピントがずれているようであれば、会議でご指摘をいただき、以降の会議運営に役立てていきたいと考えています。</p> |
| 福祉政策課 白井主幹 | <p>地域活動応援制度について結果報告では納得がいかないとお話をいただきましたが、現時点では制度設計の案の段階です。本日いただく意見をふまえて必要な修正をかけていきたいと考えています。</p> <p>振り返りシートは、第4期わかちあいプランとの共通フォーマットなので、いちかわ社協さんのほうでコメントがあればいただきたいと思えます。</p> |
| 社会福祉協議会 山崎事務局次長 | <p>市の進行管理と社協のわかちあいプランの関係について説明いたします。資料のスケジュール案の1番下にいちかわ社協のスケジュールが記載されており、地区代表者連絡会が2月と8月に設定されています。地区の代表者の皆さんには、地区代表者連絡会や各地区の総会等のところ、計画を振り返っていただき、ご自分たちの活動に活かしていただくようなイメージを持っています。今は、市の計画にどう活かすかという議論がなされていますが、わかちあいプランの法人全体の計画や14地区の計画については、次の年度にどう活かすかということ、タイムスケジュールに組み込んでいくことを考えています。市内全体でいちかわ社協として応援していくべき部分については、次年度事業に反映できるよう頑張っていきたいと思えます。</p> |
| 戸田委員 | <p>振り返りシートはどうやって書くのか、誰が書くのか、どのようなシステムでうめていくのかよくわかりません。</p> |
| 社会福祉協議会 菊地CW | <p>振り返りシートは、各地区の地域ケアシステム推進連絡会で、地域の皆さま・社協・コミュニティワーカー・行政のみんなで活動計画に対する振り返りを行うものです。スケジュールにも記載がありますが、10月頃からの早めの振り返りが必要だと考えています。けっして地域に皆さまに丸投げするというわけではなく、地区担当もコミュニティワーカーも応援をさせていただきます。</p> |
| 永井委員 | <p>私たちは、「地域の取り組み」欄に記載をすればいいという理解でいいですか。また、市川第一地区では3月・6月・9月・12月に会議を開催していますが、その場合には3月にシートを完成すればいいということですか。</p> |

| | |
|---------------|---|
| 福祉政策課 正木主査 | 記載の欄につきましては、ご発言のとおりです。時期につきましては、シートの「完成」という意味では3月になりますが、行政施策に反映するためのお願いとなりますが、12月の会議後に暫定で記載いただけると助かります。 |
| 福祉政策課 白井主幹 | よろしいでしょうか。それでは次に、会議次第3の「地域活動応援制度について」福祉政策課森田より説明させていただきます。 |
| 福祉政策課 森田主任 | （「資料3 地域活動応援制度について」に基づき説明） |
| 福祉政策課 白井主幹 | ただ今の説明について、何かご質問等がありましたら、お願いします。 |
| 石崎委員 | この制度は、市が場所を提供する団体を募集して、それを情報提供するだけなのでしょうか。その施設には私たちが直接申し込むことになるのでしょうか。 |
| 福祉政策課 森田主任 | その施設を初めて利用する際には、地域の皆さまはまず市に電話連絡していただき、市はその意向を施設に伝えます。その後の正式な申込みは、地域の皆さまが直接、施設に対して行っていただく形となります。2回目以降は、市に連絡いただく必要はなく、施設と直接やりとりしていただくこととなります。 |
| 石崎委員 | なかなかイメージがわきにくいです。 |
| 福祉政策課 若菜課長 | 一言で言えばマッチングです。場所を提供していただける団体と場所を必要としている地域の団体をつなげようという事業です。 |
| 石崎委員 | 提供団体としては、どのくらい手が挙がる見込みですか。 |
| 福祉政策課 若菜課長 | まだ募集をしていませんので、数字では言いにくいですが、特別養護老人ホームの方などからは、そういったスペースがあるという話を聞いています。 |
| 日光委員 | 地域で空きスペースを持っている施設等があれば、市からも一緒に行きに行っていたらいいのでしょうか。 |
| 福祉政策課 若菜課長 | そういった施設があるのであれば、市のほうに教えていただきたいと思います。 |
| 橋本委員 | 先日、高齢者サポートセンター市川東部が開催した「愛・カフェ」がいきいきセンター鬼越であり、利用させてもらいましたが、立地もよく、多くの人が集まりました。空いている時間に、また利用したいという話がありました。 |
| 齊藤委員 | いきいきセンターは市内に13ヶ所あるので、これを利用させていただければと思っています。 |
| 石崎委員 | 民間の協力を得て場を確保するというのもやっていただきたいと思います。第4期計画施策の方向18の公助の部分に、「学校・公民館等の公共施設の活用に向けて、状況把握・情報提供・検討依頼を計画的に進める」とありますように、公共施設を確保し、その情報を地域に伝えるというこ |

| | |
|--|--|
| <p>福祉政策課 白井主幹 石崎委員</p> | <p>とも必要だと思います。</p> <p>前の議題も含めて全体で何かご質問等がありますでしょうか。</p> <p>現在、お互いさま事業の実施に向けて取り組んでいます。どうやって進めていけばいいのかわかることもあります。他の自治体では支え合い活動についてのマニュアルを作っているところもあり、市川市でも作成してほしいと考えていますが、いかがでしょうか。</p> <p>また、振り返りシートの活用についての説明がありましたが、「市川市地域包括ケアシステム推進委員会」でしっかり提案を通していただくことが必要だと思いますので、意気込みをお聞かせください。</p> |
| <p>地域支えあい課 杉山課長</p> | <p>日頃より大変お世話になっております。</p> <p>団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて地域包括ケアシステムの構築が求められております。そのためには、元気な高齢者の方にも地域の担い手になっていただき、地域で支え合う仕組みを作っていくことが必要です。</p> <p>そうした状況の中で、ご質問いただいた支え合い活動に関するマニュアルにつきましては、地域支えあい課で素案を作成し、今後、市川市地域包括ケアシステム推進委員会内の部会で検討してまいりたいと考えています。</p> |
| <p>福祉政策課 若菜課長 福祉政策課 白井主幹 千葉商科大学 和田教授</p> | <p>振り返りシートを活用して把握する地域課題に対して、庁内できちんと施策提案できるよう、取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>オブザーバーとしてご参加いただいている千葉商科大学和田教授からは、何かコメント等ございますでしょうか。</p> <p>まずは、私と学生を参加させていただき、ありがとうございます。素晴らしい学びの機会になっています。3点コメントさせていただきます。</p> <p>1点目は、スケジュールの大切さです。資料2でも示されていますが、行政施策への反映も可能となるよう7月から逆算で組み立てていき、それを意識していくということがポイントではないかと感じました。</p> <p>2点目は、地域の課題についてです。資料2の資料イメージのところで点線で示されていますが、日頃の活動の中で地域の皆さまが感じる地域の課題を記載するという事は、その後、役割分担も含めて対応を考えていくうえでとても大切なことではないかと思いました。</p> <p>3点目は、学生の関わりについてです。本日も1・2年生の若い学生が参加しています。そして、学生は実際に地域活動の担い手としても活動しています。地域課題の解決にあたり学生を活用するという事もお考えいただき、地域の会議等にお声がけいただければと思っています。</p> |
| <p>福祉政策課 白井主幹</p> | <p>ありがとうございます。本日の会議は以上でございます。次回会議の日程は決まり次第お知らせさせていただきます。みなさまお疲れ様でした。</p> |